

平成28年度 夏季ICT活用教育研修会（7～8月）実施報告

■児童・生徒用校内タブレット活用術



会場： 日野第七小学校 夢が丘小学校 日野第八小学校（7月）
日野第三中学校 日野第一小学校 大坂上中学校 平山中学校（8月）

▶実施報告その3 ～ 研修会の内容② ～

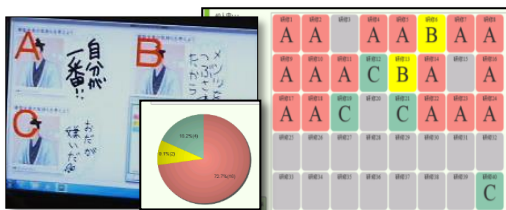
2. 〈スタディシリーズ〉の実習（実施順）

スタディネット：表現し、多様な考えに出会う「タブレット学習システム」

主に「児童・生徒」の立場でクラス全員の考えを一覧で知る機能、課題を解く過程が見える機能などを体験。いくつかの事例を通して、授業での活用意義を感じていただきました。



全員の回答一覧…光秀の気持ちは？



ピックアップした3種類の考え方に投票する体験



「一筆がき」の実践紹介
をしてくださった皆川先生
（三中会場）

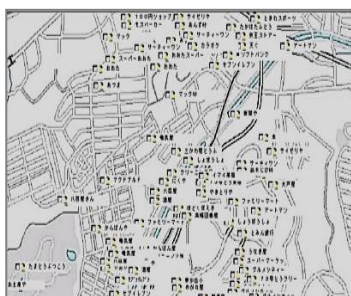
スタディノート：子供たちが学び合い、伝え合う「表現・協働学習支援ツール」

主に「データベース機能」をご紹介。「都道府県を調べよう」を「児童・生徒」と「先生」の両方の立場で体験し、「思考マップ」などの事例からも授業のイメージを持っていただきました。

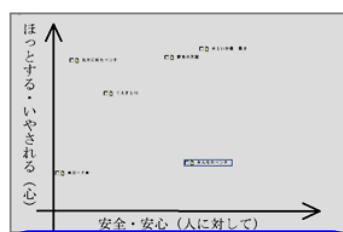
自分の好きな都道府県について各自ノートを作成



一つの日本地図に、各自作成したノートを配置
（ノート名をダブルクリックするとノートが開く）



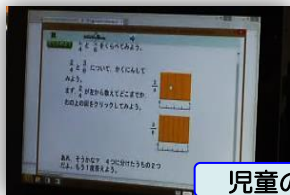
9年前に児童が作った学校付近の
「お店屋さんマップ」を発見！最新
バージョンを作らせてみようか
との声も（夢が丘小会場）



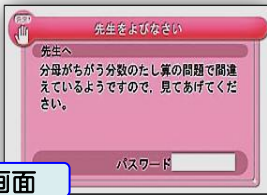
ノートを配置した場所は動か
せるので、書かれた考えを分
類したり、友達の考えを見て
自分の考えが変わったら、軸
の上で場所を動かしたりして、
クラス全体で学び考え合う

インタラクティブスタディ（小学校会場のみ）：「個別学習支援システム」

「児童」の立場で教材を体験した後、「先生」の立場で各児童の進捗や課題の理解状況、誤答分析の方法などを知り、授業での効果的な活用方法について考えていただきました。



児童の画面



先生の画面



先生の画面

